

地域包括ケア見える化システムを活用した

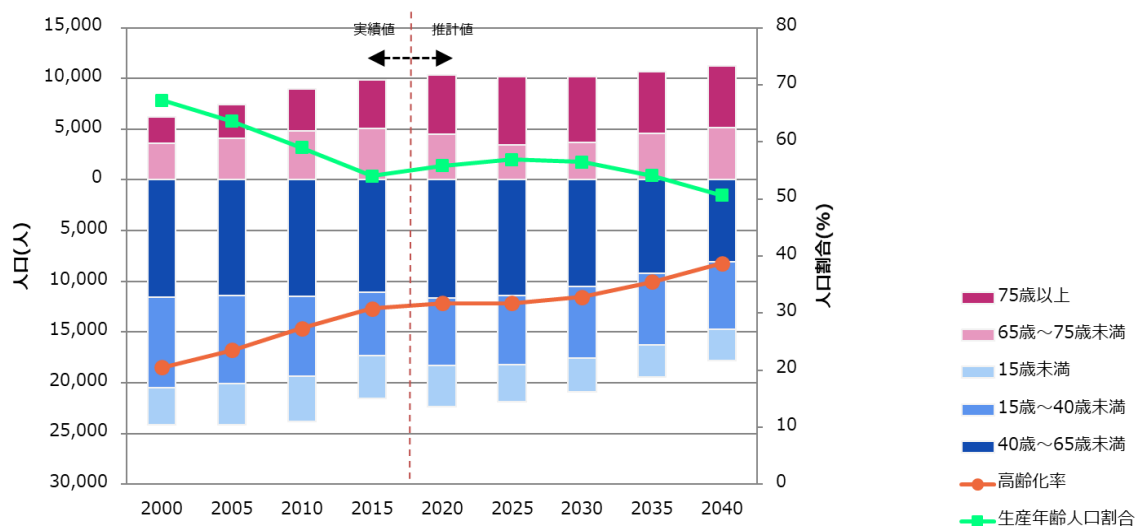
葉山町の介護保険事業について

令和元年3月23日

葉山町福祉課

# 1 葉山町の人口の推移

## 葉山町の人口の推移



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
人口 (人)	30,413	31,531	32,766	32,096	32,739	32,020	31,084	30,054	29,031
15歳未満 (人)	3,693	4,039	4,476	4,192	4,100	3,664	3,313	3,142	3,092
15歳～40歳未満 (人)	8,945	8,652	7,844	6,272	6,647	6,848	7,092	7,027	6,626
40歳～65歳未満 (人)	11,530	11,417	11,494	11,066	11,627	11,368	10,484	9,224	8,074
65歳～75歳未満 (人)	3,588	4,102	4,790	5,057	4,486	3,471	3,657	4,559	5,166
75歳以上 (人)	2,633	3,321	4,159	4,833	5,879	6,669	6,538	6,102	6,073
生産年齢人口 (人)	20,475	20,069	19,338	17,338	18,274	18,216	17,576	16,251	14,700
高齢者人口 (人)	6,221	7,423	8,949	9,890	10,365	10,140	10,195	10,661	11,239
生産年齢人口割合 (%)	67.3	63.6	59.0	54.0	55.8	56.9	56.5	54.1	50.6
高齢化率 (%)	20.5	23.5	27.3	30.8	31.7	31.7	32.8	35.5	38.7
高齢化率 (神奈川県) (%)	13.8	16.8	20.1	23.6	26.1	27.2	29.0	31.7	35.0
高齢化率 (全国) (%)	17.3	20.1	22.8	26.3	29.1	30.3	31.6	33.4	36.1

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

葉山町の今後の人口推移は2020年をピークにその後逡減していくのに対し、65歳以上の高齢化率は2040年まで上昇し続けると見込まれます。

75歳以上高齢者が増加し続けていくことから、今後介護が必要な状態の高齢者が増加する可能性があります。

15歳以上65歳未満の生産年齢人口の割合は、2000年の67.3%から2040年には50.6%まで下がると見込まれます。

**【葉山町の課題】**

75歳以上の後期高齢者数の増加による要支援・要介護認定者数の増加。

15歳から64歳までの担い手不足（支援者不足）。

**【参考値】**

平成31年1月1日時点の年齢3区別構成比

	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上
神奈川県全域	9,181,625人	12.2%	62.7%	25.1%
横須賀市	396,971人	10.9%	57.7%	31.5%
鎌倉市	172,254人	11.5%	57.3%	31.2%
逗子市	57,017人	11.7%	56.4%	31.9%
三浦市	43,042人	8.8%	52.0%	39.2%
大磯町	31,412人	11.4%	54.4%	34.2%
葉山町	31,826人	12.9%	54.9%	32.2%

出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果

第7期 月額介護保険料基準額  
(2018年度～2020年度)

5年後の神奈川県平均における介護保険料は  
月額7,784円(年額93,408円)と推計

神奈川県平均	5,737円
横須賀市	5,500円
鎌倉市	5,464円
逗子市	5,810円
三浦市	5,716円
大磯町	5,700円
葉山町	4,800円

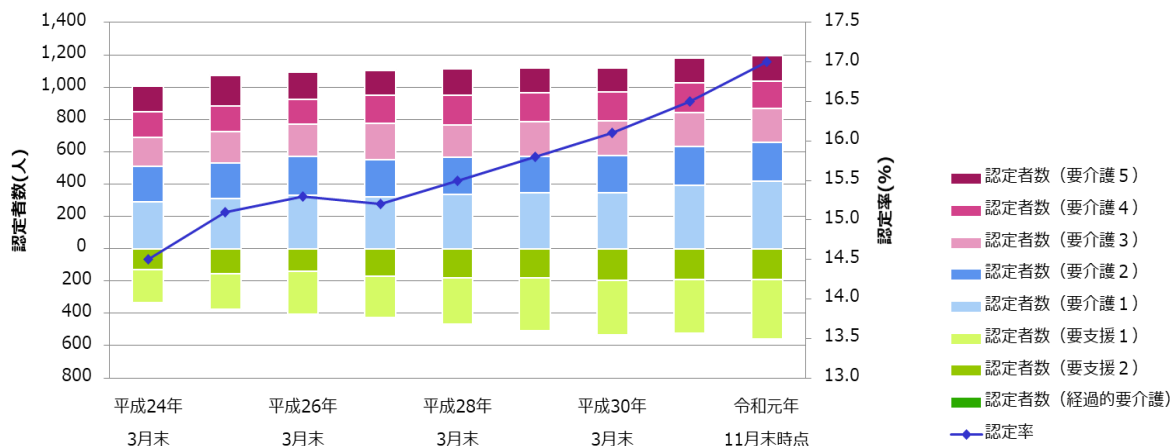


2025年度↕ 神奈川県平均↕ 保険料推計↕ 7,784円↕
---

出典：かながわ高齢者保健福祉計画（第7期 2018年度から2020年度）

## 2 葉山町の要介護（要支援）認定者数の推移

### 葉山町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



（出典）平成23年度から平成29年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、平成30年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和元年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

	平成24年 3月末	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末時点	令和元年 11月末時点
認定者数 (人)	1,339	1,446	1,501	1,529	1,578	1,622	1,653	1,702	1,751
認定者数 (要支援1) (人)	204	220	268	255	283	325	339	332	365
認定者数 (要支援2) (人)	130	155	139	169	182	181	196	191	193
認定者数 (経過的要介護) (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数 (要介護1) (人)	289	312	331	323	337	347	347	394	419
認定者数 (要介護2) (人)	223	220	240	230	228	225	228	240	240
認定者数 (要介護3) (人)	179	191	199	221	199	216	214	209	210
認定者数 (要介護4) (人)	155	161	155	177	185	175	181	185	168
認定者数 (要介護5) (人)	159	187	169	154	164	153	148	151	156
認定率 (%)	14.5	15.1	15.3	15.2	15.5	15.8	16.1	16.5	17.0
認定率 (神奈川県) (%)	15.4	15.7	15.9	16.2	16.3	16.5	16.8	17.2	17.6
認定率 (全国) (%)	17.3	17.6	17.8	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.5

（出典）平成23年度から平成29年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、平成30年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和元年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

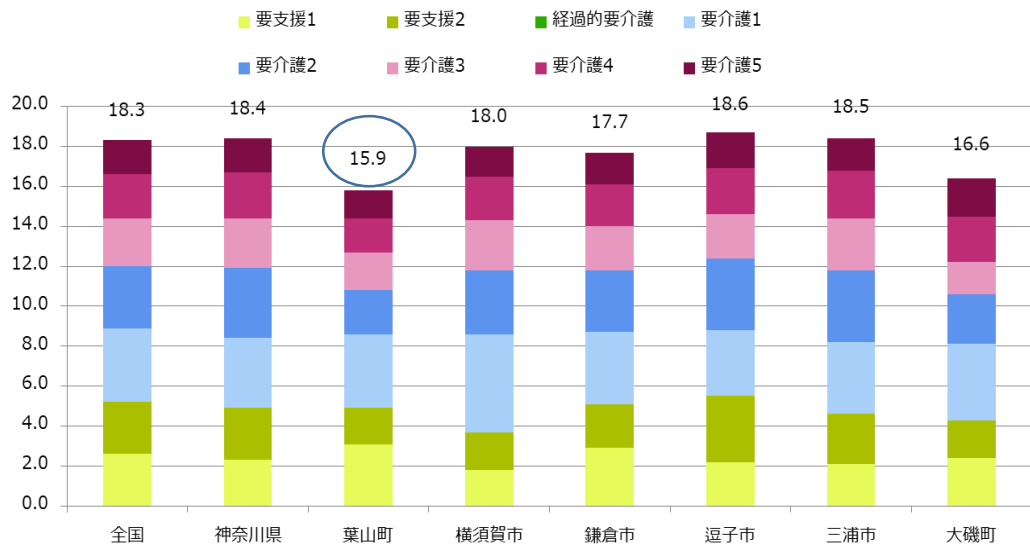
葉山町の要介護（要支援）認定率（17.0%）は、全国平均（18.5%）、神奈川県平均（17.6%）と比較すると低いものの直近の認定率は上昇し続けています。

#### 【参考値】

令和元年11月末時点 要介護（要支援）認定率

全国	神奈川県	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	大磯町	葉山町
18.5%	17.6%	17.9%	19.9%	20.7%	18.9%	15.9%	17.0%

## 調整済み認定率（要介護度別）（平成30年(2018年)）



（時点）平成30年(2018年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

要介護（要支援）認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者（65歳以上高齢者）の性・年齢構成」の影響を除外した「調整済み認定率」で全国、神奈川県平均と比較しても、葉山町の認定率は低い状況です。（大磯町の認定率より低くなります。）

### 【葉山町の課題】

要介護（要支援）認定率は、現段階では全国平均、神奈川県平均、近隣自治体と比較して低い状況ですが、年々上昇しています。

### 新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布（平成30年（2018年））

	全国	神奈川県	葉山町
要支援1	26.7%	24.7%	37.9%
要支援2	17.4%	18.8%	17.6%
要介護1	24.5%	23.4%	17.3%
要介護2	12.1%	12.4%	9.1%
要介護3	7.2%	7.0%	8.5%
要介護4	7.2%	7.8%	5.2%
要介護5	5.0%	6.0%	4.5%

出典：厚生労働省「介護保険総合データベース」（平成31年4月10日時点データにて集計）

新規に要支援・要介護認定になる方の介護度を分析すると、葉山町は要支援1の状態の方が多いことが分かります。

つまり、比較的軽度の状態から要支援・要介護認定を受けていると判断されます。

### 新規要支援・要介護認定者の年齢階級別分布（平成30年（2018年））

	全国	神奈川県	葉山町
65-69歳	7.9%	8.2%	7.0%
70-74歳	11.8%	13.1%	10.3%
75-79歳	20.1%	22.2%	13.3%
80-84歳	27.2%	27.6%	30.0%
85-89歳	22.2%	19.9%	24.8%
90歳以上	10.9%	8.9%	14.5%

出典：厚生労働省「介護保険総合データベース」（平成31年4月10日時点データにて集計）

新規に要支援・要介護認定になる方の年齢を分析すると、葉山町は75歳から79歳までの割合が低いが多いことが分かります。

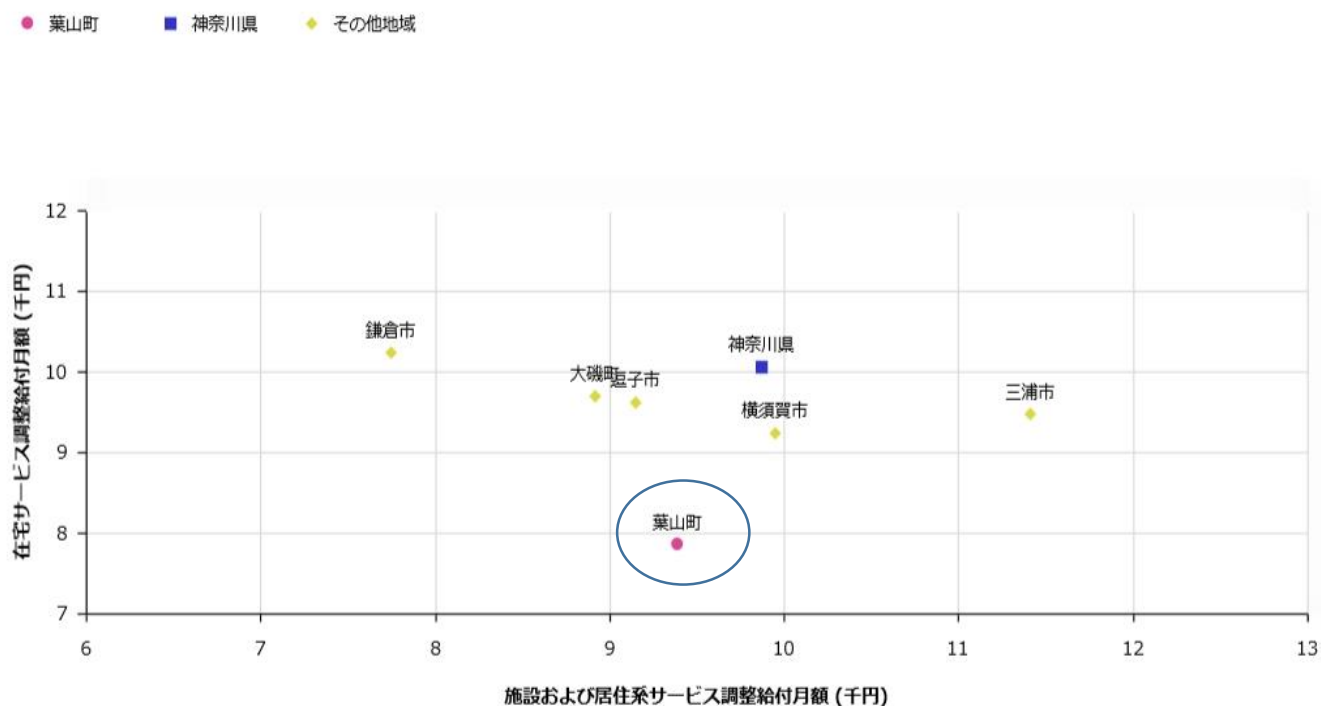
つまり、80歳が分岐点と考えられます。

#### 【葉山町の課題】

80歳から要支援・要介護認定を受ける方が多くなることから、80歳までの時期に介護予防の取り組みに着手する必要があります。

### 3 介護給付費

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）



(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

給付費に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者（65歳以上高齢者）の性・年齢構成」と「地域区分単価」の影響を除外した調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額を見ると、葉山町は在宅サービスの給付月額が低く、施設および居住系サービスは近隣市、同規模自治体より給付月額が比較的多いことが分かります。

#### 【葉山町の課題】

葉山町の要支援・要介護認定率は比較的軽度の方が多いので、在宅サービスの給付費が低くなりますが、介護度が高くなった際に、在宅サービスより施設及び居住系サービスを利用している可能性があります。

要介護度が重くなった際の在宅サービスの支援が今後求められます。

#### 4 葉山町介護保険特別会計決算額

(

	介護保険特別会計支出総額	保険給付費	備考
平成12年度 (2000年度)	985,425 千円	867,577 千円	介護保険制度開始
平成18年度 (2006年度)	1,805,821 千円	1,690,030 千円	要支援制度創設
平成30年度 (2018年度)	2,779,429 千円	2,489,562 千円	

介護保険制度開始から18年が経過した平成30年度時点で、保険給付費は約3倍にまで増加しています。

#### 介護保険料基準額（月額換算）

	第1期 (2000～2002年度)	第7期 (2018～2020年度)	1期と7期の 比較
神奈川県平均	2,975円	5,737円	1.9倍
横須賀市	2,900円	5,500円	1.9倍
鎌倉市	2,660円	5,464円	2.1倍
逗子市	2,630円	5,810円	2.2倍
三浦市	2,713円	5,716円	2.1倍
大磯町	2,850円	5,700円	2.0倍
葉山町	2,707円	4,800円	1.8倍

2025年度の神奈川県平均介護保険料（推計）

7,784円

葉山町は神奈川県平均、近隣市町村に比べ低い介護保険料となっていますが、介護保険制度開始時に比べ1.8倍の増額となっています。（神奈川県平均及び近隣自治体、類似自治体を比較し、葉山町の介護保険料の伸びは低いものになっています。）



## 5 地域包括ケア見える化システムを用いた地域分析（まとめ）

### （１）現状と課題

今後団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、高齢者数は増加し続けていくことから、要支援・要介護認定を受ける方々も増加する可能性があります。

葉山町の特徴として比較的元気な高齢者が多く、現在は要支援・要介護認定率も低い状況ですが、80歳を分岐点として要支援・要介護認定を受ける方々が増加しています。

そこで、健康なうちから介護予防に取り組むこと、さらに介護が必要な状態になった際の自立支援型ケアマネジメントの推進が求められます。

### （２）第7期における具体的取組

#### ①介護予防事業（国モデル事業）

葉山町では、貯筋運動による住民主体の通いの場事業を平成28年度から開始し、令和2年3月時点で町内23団体（25会場）にまで広がっています。

今後とも、住民主体の介護予防事業としての貯筋運動を全町的に広げ、介護予防の充実を図ってまいります。

（第7期 葉山町高齢者福祉計画 介護保険事業計画（平成30年3月策定）  
貯筋運動（地域づくりによる介護予防推進支援事業）

#### 【実績値】

実績値	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (実績値)
実施団体	—	3	10

#### 【目標値】

目標値	平成30年度 (目標値)	令和元年度 (目標値)	令和2年度 (目標値)
実施団体	15	20	25

平成30年度実績	18団体
令和元年度実績	23団体

令和元年度時点で、目標を上回る実績となっており、今後も町内全域で広げる必要があります。

②自立支援型ケアマネジメントの推進（国モデル事業）

比較的軽度な状態の方々（要支援1・2、要介護1）のケアプランに対し、理学療法士・作業療法士等の専門職が加わり介護支援専門員や関わる介護保険サービス事業者に助言を行うことで、自立支援・重度化防止への対応を図っています。

【実績値】

実績値	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (実績値)
対象ケアプラン数	—	—	12

【目標値】

目標値	平成30年度 (目標値)	令和元年度 (目標値)	令和2年度 (目標値)
対象ケアプラン数	24	24	24

平成30年度実績	24
令和元年度実績	24

毎月1回、2ケースのケアプランを取り上げ検討を加えることで自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントを推進しています。

③ケアマネジメント適正化推進事業

返子市・葉山地が行政・地域包括支援センター・介護保険事業者が協働し、適切なケアマネジメントの推進を図っています。

令和元年度実績

令和元年6月12日	ケアマネジメント適正化研修
令和元年6月16日	アセスメント力向上研修Ⅰ
令和元年7月3日	新任・現任研修
令和元年8月21日	相談力向上研修
令和元年10月30日	情報収集力向上研修
令和元年11月13日	アセスメント力向上研修Ⅱ
令和2年2月12日	アセスメント力向上研修Ⅲ

今後、特に介護度が重度になった方への在宅支援に向けたケアマネジメントの推進を行っていくことが課題となっています。

### (3) 評価結果

要支援・要介護認定率は上昇していますが、全国平均、神奈川県平均、近隣市町村、類似市町村と比較しても低い状況であります。

貯筋運動による通いの場が町内全域に広がることでの介護予防の浸透、自立支援に向けたケアマネジメントの推進を図っており、介護保険事業は適正に行われています。

介護保険料も低く設定できており、町民負担の軽減も行われています。

### (4) 課題と対応策

しかしながら、今後、75歳以上高齢者を中心に高齢者数は増加していく見込みであり、葉山町の場合、団塊の世代が80歳になる10年後の2030年(令和12年)に介護保険給付費も増加し続け、介護保険料も上がり続ける可能性があります。

そこで、葉山町全体で介護予防を意識し取り組み事で、介護保険料の上昇を抑え、第7期葉山町 高齢者福祉計画 介護保険事業計画の基本理念「お互いに支え合い、いきいきと健康に過ごせるまち、はやま」の実現を図ることが求められています。